



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月7日

上場会社名 ヒラキ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3059 URL <http://company.hiraki.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 向畑 達也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営戦略室長 (氏名) 姫尾 房寿 (TEL) (078)967-4601
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	4,715	△5.0	462	2.3	450	1.9	310	3.3
30年3月期第1四半期	4,963	△1.5	452	20.0	442	26.1	301	26.3

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 424百万円 (40.1%) 30年3月期第1四半期 302百万円 (546.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	63 82	—
30年3月期第1四半期	61 81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	18,478	6,201	33.6
30年3月期	17,321	5,825	33.6

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 6,201百万円 30年3月期 5,825百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	10 00	—	10 00	20 00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	10 00	—	10 00	20 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,000	0.9	420	△18.4	410	△19.0	280	△17.7	57 48
通期	18,300	2.9	900	△14.6	890	△16.8	600	△17.7	123 18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期1Q	5,155,600株	30年3月期	5,155,600株
31年3月期1Q	284,714株	30年3月期	284,714株
31年3月期1Q	4,870,886株	30年3月期1Q	4,870,970株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成30年4月1日～平成30年6月30日）におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続きました。一方、経済の先行きにつきましては、社会保障制度に関する将来不安や実質賃金の伸び悩みを受けた消費者の節約志向の高まり、米国通商政策の世界経済への影響などが懸念され、不透明な状況となっております。

このような状況の中、当社グループは、本年度から始まる中期経営計画のミッションとして、「日本一の靴総合販売会社になるために、靴通販および単店で販売数量ナンバーワンを目指す」を掲げ、ヒラキ開発商品の市場シェアアップに取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における連結売上高は、47億15百万円（前年同期比5.0%減）、営業利益は4億62百万円（前年同期比2.3%増）、経常利益は4億50百万円（前年同期比1.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億10百万円（前年同期比3.3%増）となりました。

当社グループの報告セグメントの当第1四半期連結累計期間における業績は、次のとおりであります。

① 通信販売事業

通信販売事業におきましては、関東のほか4エリアでのテレビCM広告および100円ショップレジ袋へのチラシ封入、LINEショッピング開始などの販売促進策により、新規顧客の獲得と既存顧客のリピート率アップに取り組みましたが、受注のけん引役となる販売促進商品および5月から6月の不安定な気候により夏物商品の受注が伸び悩んだ結果、総受注件数は前年を下回りました。

この結果、売上高は25億42百万円（前年同期比5.8%減）となりました。利益面は、売上総利益率が大きく改善し、減収の影響および物流費の増加を補い、セグメント利益（営業利益）は4億67百万円（前年同期比1.6%増）と減収増益となりました。

② ディスカウント事業

ディスカウント事業におきましては、お客様に「日常の買い物にワクワク感」を提供すべく特価商材の仕入れによる品揃え拡充と価格訴求の他、延べ189日に及ぶ出張販売に精力的に取り組みましたが、天候の影響もあり夏物の靴・衣料品の販売に苦戦しました。

この結果、売上高は20億17百万円（前年同期比3.2%減）となりました。利益面では、チラシ配布の効率化による広告宣伝費、その他諸経費の削減により、セグメント利益（営業利益）は66百万円（前年同期比2.8%増）と減収増益となりました。

③ 卸販売事業

卸販売事業におきましては、新規取引先の開拓は徐々に成果が見られる一方、既存大口取引先への新商品販売が伸び悩んだ他、小売店向け販売におけるサンダル販売の不調が影響し、売上高は1億54百万円（前年同期比13.5%減）、セグメント利益（営業利益）は、売上総利益率の改善により、28百万円（前年同期比4.4%増）と減収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債および純資産の状況の分析)

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ12億63百万円増加し、120億96百万円となりました。これは、現金及び預金が18億82百万円増加し、商品が4億25百万円、受取手形及び売掛金が2億23百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1億7百万円減少し、63億81百万円となりました。これは、建物及び構築物が46百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ11億56百万円増加し、184億78百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1億73百万円減少し、45億93百万円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が2億47百万円増加し、買掛金が2億34百万円、未払法人税等が53百万円、賞与引当金が51百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ9億55百万円増加し、76億84百万円となりました。これは、長期借入金が9億69百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ7億81百万円増加し、122億77百万円となりました。

③ 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億75百万円増加し、62億1百万円となりました。これは、利益剰余金が2億62百万円増加したこと等によるものであります。自己資本比率は、前連結会計年度末と横ばいの33.6%となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は、前連結会計年度末に比べ13億82百万円増加し、39億68百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、7億28百万円(前年同四半期は8億13百万円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益4億50百万円の計上、たな卸資産の減少額4億14百万円、売上債権の減少額2億23百万円、仕入債務の減少額2億34百万円および法人税等の支払額2億円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、5億円(前年同四半期は7億3百万円の使用)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出16億円、定期預金の払戻による収入11億円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、11億54百万円(前年同四半期は5億14百万円の獲得)となりました。これは主に、長期借入れによる収入18億円、長期借入金の返済による支出5億82百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現在の状況を踏まえ、平成30年5月11日の決算短信にて発表しました平成31年3月期の業績予測を見直した結果、当該四半期において平成31年3月期の連結業績予想を修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,487,999	8,370,388
受取手形及び売掛金	1,102,442	878,552
商品	3,115,689	2,690,018
未着商品	37,485	47,296
貯蔵品	16,568	17,574
その他	91,910	109,012
貸倒引当金	△19,111	△15,890
流動資産合計	10,832,984	12,096,952
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,696,364	2,649,639
土地	3,157,566	3,157,566
その他(純額)	183,803	171,536
有形固定資産合計	6,037,734	5,978,742
無形固定資産	133,194	122,104
投資その他の資産	317,622	280,562
固定資産合計	6,488,550	6,381,409
資産合計	17,321,535	18,478,361
負債の部		
流動負債		
買掛金	946,745	711,762
1年内返済予定の長期借入金	2,322,352	2,570,151
未払法人税等	220,878	167,818
賞与引当金	131,429	80,250
役員賞与引当金	-	2,589
ポイント引当金	33,109	34,285
その他	1,112,349	1,026,275
流動負債合計	4,766,864	4,593,131
固定負債		
長期借入金	6,351,363	7,321,201
環境対策引当金	13,568	13,568
退職給付に係る負債	154,246	157,424
資産除去債務	32,641	32,789
その他	177,097	159,201
固定負債合計	6,728,916	7,684,184
負債合計	11,495,781	12,277,316

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	450,452	450,452
資本剰余金	1,148,990	1,148,990
利益剰余金	4,419,209	4,681,349
自己株式	△151,110	△151,110
株主資本合計	5,867,540	6,129,681
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,177	11,267
繰延ヘッジ損益	△74,214	41,219
為替換算調整勘定	19,249	18,876
その他の包括利益累計額合計	△41,786	71,364
純資産合計	5,825,754	6,201,045
負債純資産合計	17,321,535	18,478,361

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	4,963,721	4,715,518
売上原価	2,699,711	2,468,502
売上総利益	2,264,009	2,247,015
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	584,648	553,446
貸倒引当金繰入額	4,265	1,915
ポイント引当金繰入額	5,009	15,018
給料手当及び賞与	439,983	425,546
賞与引当金繰入額	83,445	80,250
その他	694,455	708,127
販売費及び一般管理費合計	1,811,807	1,784,305
営業利益	452,201	462,710
営業外収益		
受取利息	1,060	1,252
受取配当金	468	1,455
デリバティブ評価益	6,472	7,207
受取補償金	1,717	10,694
その他	11,290	6,156
営業外収益合計	21,009	26,765
営業外費用		
支払利息	23,070	19,979
為替差損	7,969	18,747
その他	49	8
営業外費用合計	31,089	38,735
経常利益	442,121	450,740
税金等調整前四半期純利益	442,121	450,740
法人税、住民税及び事業税	157,515	155,721
法人税等調整額	△16,456	△15,830
法人税等合計	141,058	139,891
四半期純利益	301,062	310,849
親会社株主に帰属する四半期純利益	301,062	310,849

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	301,062	310,849
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,840	△1,910
繰延ヘッジ損益	572	115,433
為替換算調整勘定	△753	△373
その他の包括利益合計	1,659	113,150
四半期包括利益	302,722	424,000
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	302,722	424,000
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	442,121	450,740
減価償却費	80,178	74,850
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,141	△3,221
賞与引当金の増減額(△は減少)	△60,078	△51,179
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	2,159	2,589
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△10,863	1,175
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,306	3,178
受取利息及び受取配当金	△1,529	△2,707
支払利息	23,070	19,979
為替差損益(△は益)	19	△408
売上債権の増減額(△は増加)	124,802	223,383
たな卸資産の増減額(△は増加)	529,361	414,854
仕入債務の増減額(△は減少)	△190,873	△234,247
その他	77,834	45,488
小計	1,017,368	944,475
利息及び配当金の受取額	3,169	4,012
利息の支払額	△23,090	△20,252
法人税等の支払額	△184,130	△200,050
営業活動によるキャッシュ・フロー	813,316	728,185
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,500,300	△1,600,300
定期預金の払戻による収入	1,800,000	1,100,000
有形固定資産の取得による支出	△3,080	△500
投資有価証券の取得による支出	△537	△98
その他	150	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△703,767	△500,898
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,200,000	1,800,000
長期借入金の返済による支出	△611,562	△582,363
配当金の支払額	△55,255	△46,417
その他	△18,845	△16,421
財務活動によるキャッシュ・フロー	514,337	1,154,797
現金及び現金同等物に係る換算差額	△520	4
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	623,365	1,382,089
現金及び現金同等物の期首残高	2,814,882	2,586,099
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,438,247	3,968,188

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I. 前第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額(注)2
	通信販売事業	ディスカウント 事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	2,698,975	2,085,644	179,100	4,963,721	—	4,963,721
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,698,975	2,085,644	179,100	4,963,721	—	4,963,721
セグメント利益	460,354	65,062	27,570	552,987	△100,785	452,201

(注) 1 セグメント利益の調整額△100,785千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II. 当第1四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額(注)2
	通信販売事業	ディスカウント 事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	2,542,632	2,017,991	154,893	4,715,518	—	4,715,518
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,542,632	2,017,991	154,893	4,715,518	—	4,715,518
セグメント利益	467,797	66,878	28,795	563,471	△100,761	462,710

(注) 1 セグメント利益の調整額△100,761千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。